

研究課題名 慢性閉塞性肺疾患における呼吸困難感の要因である動的肺過膨張が生じやすい方および呼吸の検討；後方視的研究に関する情報公開

1. 研究の対象

- 2016年07月05日～2021年03月31日に信州大学医学部附属病院で「動的肺過膨張と運動耐容能の関連についての検討」の研究にご協力いただいた方
- 2017年01月12日～2021年03月31日に信州大学医学部附属病院で「動的肺過膨張に対する長時間作用型抗コリン薬(LAMA)と長時間作用型 β_2 刺激薬(LABA)合剤の効果」の研究にご協力いただいた方
- 2017年01月12日～2021年03月31日に信州大学医学部附属病院で「動的肺過膨張における過呼吸時と運動時の比較」の研究にご協力いただいた方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：慢性閉塞性肺疾患の呼吸困難感の要因である動的肺過膨張という現象が生じやすい方の特徴および運動を制限する動的肺過膨張の基準値を過呼吸法という簡便な方法で明らかにすることを本研究の目的とします。

方法：過去に実施した臨床研究の結果をもとに、呼吸の重症度ごと、動的肺過膨張が生じるタイミングごとに群分けし、動的肺過膨張という現象や呼吸機能を比較することで動的肺過膨張という現象が生じやすい方の特徴を検討します。

情報を利用する研究者：過去に実施された研究で得た個人が識別できないようされた研究データは研究責任者である川内翔平（名古屋大学）、共同研究者である藤本圭作（信州大学保健学科）および酒井康成（信州大学医学部附属病院リハビリテーション部）が取り扱います。

研究期間：実施承認日～2027年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、年齢、身長、体重、合併症、既往歴、喫煙歴、併存疾患 等

精密呼吸機能検査の結果：肺活量、%肺活量、努力肺活量、1秒量、%1秒量 等

症状に関する質問紙の結果：呼吸困難感を評価する修正MRC（mMRC）のグレード、COPDアセスメントテスト（CAT）の点数

スパイロメトリーの結果：肺活量、%肺活量、努力肺活量、1秒量、%1秒量 等

過呼吸による動的肺過膨測定の結果：安静時の最大吸気量に対する20回、30回、40回/分の過呼吸後の最大吸気量の減少量

運動負荷試験の結果：安静時および最大運動時の酸素摂取量、分時換気量、二酸化炭素排出量、呼吸数、心拍数、経皮的動脈血酸素飽和度、経皮的二酸化炭素分圧等、安静時および運動終了直後の修正 Borg スケール 等

4. 研究組織

名古屋大学 川内翔平

名古屋大学 内山靖

信州大学 藤本圭作

信州大学医学部附属病院 酒井康成

旭ろうさい病院 川路具弘

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。本研究の情報収集期間である2026年3月31日を過ぎた場合には同意撤回ができなくなりますためご了承くださいますと幸いです。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属 名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻予防・リハビリテーション科学

氏名 川内翔平（研究責任者）

住所 愛知県名古屋市東区大幸南 1-1-20

直通電話番号 052-719-1365

FAX 番号 052-719-1365

e-mail kawachi@met.nagoya-u.ac.jp